

# 大学と医療をつなげる ～切れ目ない発達障害の支援を目指す～

発達障害を有する大学生へのコミュニケーションプログラム

日時

2020年9月6日(日) 10:00～14:30

会場

昭和大学附属烏山病院 リハビリテーションセンター／オンライン

(東京都世田谷区北烏山6-11-11)

定員:30名(1機関1名の参加でお願いいたします。)

オンラインの定員はございません。

各機関がつながりを持つことも本会の目的であるため、なるべく現地参加をお願いしたいと考えていますが、新型コロナウイルスの影響により、全面オンラインになる可能性もあります。ご了承ください。

## 第1部

10:00～12:00 講演、報告

### ①研究報告

学生支援の状況と支援ニーズ調査報告／プログラムの取り組み

(太田晴久/昭和大学、満山かおる/公財)神経研究所附属晴和病院、

安宅勝弘/東京工業大学、丸田伯子/一橋大学)

### ②山科満先生 (中央大学)

### ③佐々木銀河先生 (筑波大学)

### ④窪貴志代表 (株式会社エンカレッジ)

### ⑤村田淳先生 (京都大学)

質疑応答

昼食

## 第2部

13:00～14:30

### ①大学生プログラム／家族プログラムの紹介

### ②参加各施設からコメント、意見交換

参加申し込みについては裏面をご覧ください。

申し込み期日:  
8月31日(月)

# 大学と医療をつなげる

## ～切れ目ない発達障害の支援を目指す～

日 時：2020年9月6日（日）10:00～14:30

会 場：昭和大学附属烏山病院 リハビリテーションセンター

対象者：大学・医療・研究機関の発達障害支援に関わる支援者、医療従事者など

昭和大学、晴和病院、東京工業大学、一橋大学では協働して、発達障害を有する大学生への集団プログラムを開発、実施しております（AMED 障害者対策総合研究開発事業）。同様の困難を抱える他の大学生の当事者と共にプログラムを経験することで、他者と初めて悩みを共有し、他者を信頼できる感覚が醸成されていくことを我々は経験してきました。

発達障害を持つ大学生は卒業（中退）後に引きこもり状態に至る危険性が高いため、在学中に医療機関に繋げる必要があります。「大学と医療をつなげる」ことが求められております。今回ご参加される各大学の支援者の方々との連携を深め、烏山病院・晴和病院における発達障害専門外来での大学生の積極的な受け入れ等を含めた支援ネットワークの構築を目指します。また、東京工業大学や一橋大学では大学内においてもプログラムを実施しております。大学内で実施しやすいプログラムについての意見交換、および各大学でのプログラム立ち上げの支援も検討しています。

本会では第1部（午前）において、発達障害を持つ大学生への支援について、エキスパートの先生方にご講演いただきます。第2部（午後）ではショートケアプログラムの説明、ご参加される各施設の状況についての共有、議論を予定しております。本会が発達障害を持つ大学生に対する切れ目ない支援に向けたネットワークの構築につながることを願っております。

昭和大学発達障害医療研究所 太田晴久

キリトリ線（郵送の方）

**参加申込み：下記にご記入の上、FAXまたはメールにてお送りください。**

**メールの場合は、下記内容を記載するか添付をお願いいたします。**

**申込期日は 8月31日（月）になります**

ご希望の参加形態に○をお願いいたします。

お申込みシート FAX: 03-5315-9358（昭和大学発達障害医療研究所）

E-mail : middr@med.showa-u.ac.jp

機関名	ふりがな 氏名	職種	第1部	第2部
	①		会場・オンライン	会場・オンライン
	②		会場・オンライン	会場・オンライン
	③		会場・オンライン	会場・オンライン
住所（〒                    ）		メールアドレス *オンライン参加の場合は必ずご記入ください ① ② ③		
連絡事項				